

# 嵯峨



京都市立嵯峨小学校

TEL 075(861)1543 FAX 075(861)1544

嵯峨小学校の学校評価は、本校の指針である『嵯峨小学校の教育』に基づいて、各家庭と連携を図り、子どもたちの学びと育ちを実現できているかを考察し、今後の取組について具体的な方向性を示すためのものです。児童のふりかえりや保護者の皆様からいただいたアンケートを参考にさせていただいています。

## ＜平成25年度 第2回学校評価結果について＞

### ～豊かに表現し、ともに学び合う子を目指して～

今回のアンケートでもほぼ全員の児童が、クラスの友だちと一緒に勉強したり遊んだりするのは楽しいと答えています。児童が、毎日学校へ行くことを楽しみにしている姿が見えてきます。本校の学校教育目標「自分らしくかがやく子」の実現に向けて日々の教育活動に取り組んでいる教職員にとっても、嬉しい結果となりました。

### 話し合い活動

#### ～学校の取組～

＜低学年＞十分に体験したことをもとに自分の思いを書き、それを二人組で相手に伝えることで話す楽しさに触れられるようにしました。よい聞き手も育てていきます。

＜中学年＞「たとえば」「つまり」などの言葉を使い、理由や根拠を話したり、黒板やホワイトボードなどを使って視覚的にわかりやすく説明できるようになってきました。話をつなげていけるような話し合い活動を目指していきます。

＜高学年＞自分の考えの理由や根拠をグループの友だちに説明できるようになってきましたが、聞き手にわかりやすく話したり、意見をつなげたりしていけるようにしていきます。

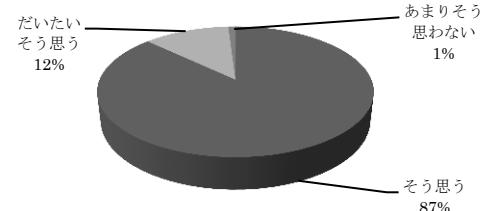
今年度、嵯峨小学校は、言語活動の充実を目指し取組を進めてきました。自分の考えや思いを言葉として表現することで、自分の考えが確かなものとなり、友だちの考えを聞くことで自分の考えが深まったり広がったりします。伝え合い、話し合う学習を通して思考力、判断力が育ち、確かな学力につながります。各学年では児童の発達段階や実態に応じて取り組んできました。

「すすんで手をあげていますか」の質問には全校児童の71%が手を挙げていると答えており、高学年児童は57%にとどまっています。高学年になると全体の場では消極的な姿勢が見られました。今後も児童が生き生きと自分の思いや考えを発表できるように授業改善していきます。

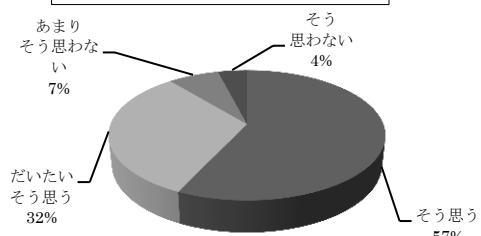
自分の話を学級のみんなが耳を傾けて聞いてくれることは、自分自身が認められているという安心感につながります。そこに一人一人が認められ、大切にされている、ともに学び合う子に育つことになります。

全体の場では発表することに抵抗がある児童も、二人組やグループの中では話すことができるようです。その話せたという自信が、全体の場でもすすんで発表することにつながるよう、今後も取組を進めていきます。

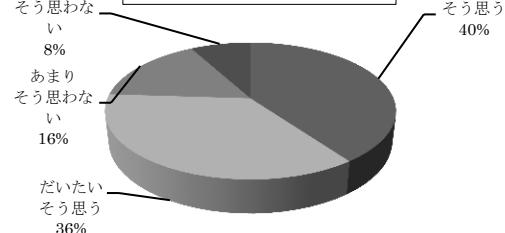
クラスのともだちといっしょに勉強したりあそんだりするのは楽しいですか



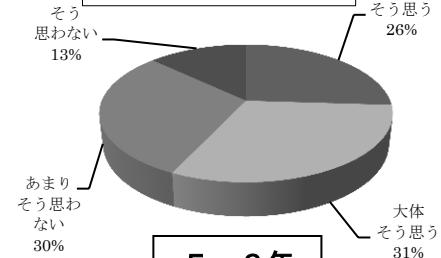
授業中グループで話し合うことは好きですか



授業中に発表することは好きですか

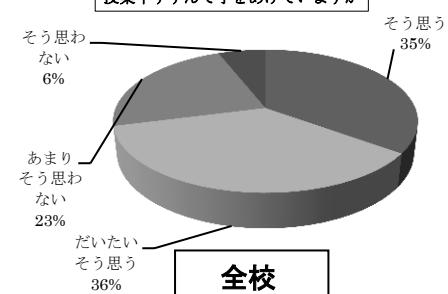


授業中すすんで手をあげていますか



5・6年

授業中すすんで手をあげていますか

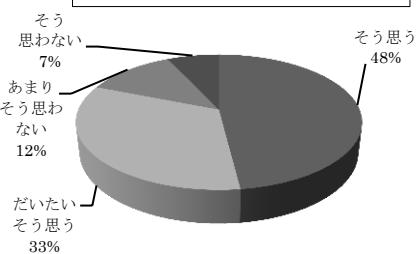


全校

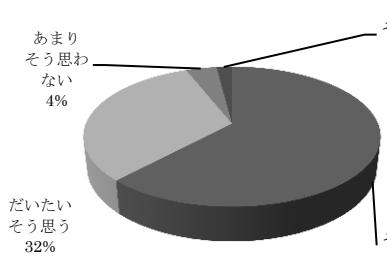
## ノートの活用

言語力は、話すこととともに「書く」ことでもあります。「書く」力を伸ばすことで、自分の気付きや考えが整理でき、筋道立てて話せるようになります。「ノートやプリントをお家の方に見せていましたか」の問いに、81%の児童が見せていると答えています。「一生懸命書いていますか」という問い合わせに対して94%の児童が一生懸命書いていると答えています。「ていねいに書かれていますか」という問い合わせには88%の児童ががんばっていると答えています。児童が一生懸命書いたノートを見たお家の方から、励ましの言葉をかけてもらうことで次への意欲がわいてきます。自分の学習の足跡がわかり、学習の流れもわかるノート作りができるように、指導する側も板書を工夫していきます。

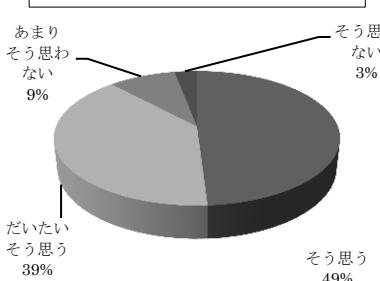
お家の方に、ノートやプリントを見せていましたか



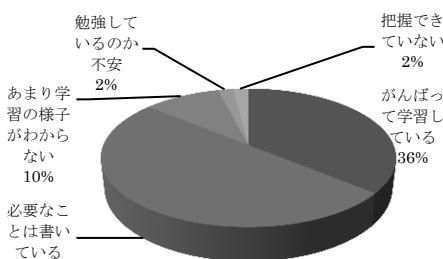
作文や感想を書く時 自分の思いをいっしょに書いていますか



自分のノートには 勉強したことや考えたことがていねいに書かれていますか



お子さんのノートを見て、どのように感じられますか



## ～規範意識を行動化できる子どもを目指して～

3つの「あ」

※数字は%

児童アンケート項目		そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
3つの「あ」	自分からすんであいさつをしていますか。	63	30	6	1
	「ありがとう」の気持ちをいつもことばで伝えていますか。	72	24	4	0
	あとからかうひとのことを考えて、あとしまつをきちんとしていますか。	60	34	5	1
保護者アンケート項目		よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない
お子さんは、3つの「あ」を意識していると思われますか。		23	47	28	2

「あとしまつ」については94%の児童ができると答えています。しかし、学校では学習や遊びの後片付けができるていない場面が見られます。保護者の「よくできている」が23%と低いのも家庭での後始末や整理整頓の様子を評価されているものと考えられます。

「あいさつ」ができると児童の90%以上が答えています。

「あいさつ」は人と人とのつなぐきっかけとなることばです。メール等、現代のコミュニケーションは相手の顔が見えにくくなっていると言われています。顔を見て交わすあいさつ、人の対話が心を育み、思考する力を育てます。学校でも家庭でも「あいさつ」ができるように今後も取組を進めていきます。

## 次年度に向けて

## 子どもたちの学びと育ちを実現するために

前回の学校評価アンケートの結果から、嵯峨小学校が今年度、教育の重点としている「言語活動の充実」「規範意識の行動化」の実現は、学校で学んだことが家庭や地域で発揮できることにあると考えました。「言語活動の充実」のための話し合い活動を参観日に見ていただいたり、学級通信等で保護者にお知らせしたりするなど、積極的に発信しました。子どもたちの言語力は学校や家庭で育まれるもので、今後も言語環境を充実させていくために、家庭と学校が一体となって取り組んでいきます。

## 学校関係者評価を学校運営に生かします

平成26年2月28日（金）に学校運営協議会を開催し、学校評価の内容についてご承認いただいた上で、その他学校運営につながる以下のようなご意見をいただきました。地域の皆様、保護者の皆様のお陰で豊かな教育活動が実現していることに感謝するとともに、次年度の学校運営に反映させていきます。

### ☆ 豊かに表現し、ともに学び合う子を目指して

授業の中で話し合う様子を参観した際、発表は活発だが声が小さく早口だった。学芸会などの発表会の際も身振り手振りは大きいが全体に声が届いていなかった。普段から話すときは相手を意識して、ゆっくり心を込めて言うことを大切にしてほしい。

### ☆ 楽しい学校（自分らしくかがやく子）の実現に向けて

子どもたちが、学校が楽しいと答えているのは嬉しく思う。登下校の様子を見ていても、友だちと楽しそうに話している姿をよく見かける。子どもたちが生き生きとした学校であってほしい。

子どもたちの学びと育ちを実現するために、家庭・地域・学校が力を合わせて取り組んでいきます。